



# 宮川市長 所信表明

9月14日に開会した、平成17年第3回市議会定例会の初日、宮川市長は、市政執行にあたり、その所信を表明しました。

「人がまちを創り、まちが人を育てる」  
市民が輝くまちづくりを目指します

## 宮川市長の市政運営の基本的な柱

「市民本位の市政」を進める

「市民に役立つ市役所」を創る

「産業が豊かな暮らしを支えるまち」を創る

「分権時代に生きるまちと人」を創る

# 広報 もんべつ

2005年 10月号

## もくじ

■ 所信表明	2
■ 所信表明及び市議会だより	7
■ 指定管理者制度	8
■ 医療受給者証更新のお知らせ	9
■ 介護保険制度改正のお知らせ	10
■ 第12回紋別グルメまつり	12
■ 広域公園からのお知らせ	13
■ 健康ライフ	14
■ 暮らしの情報箱	16
■ まちの出来事	26
■ みんなの芸術館	28



しなやかに、可憐に、強く  
コスモスの花の季節です。

コスモスの花が風に揺れる季節になりました。コスモスはメキシコ原産のキク科の1年草で、ピンクや白、赤、黄色などの花をつけます。秋に咲くことから秋桜の別称もあります。





平成17年第3回紋別市議会定例会の開会にあたり、私の市政執行に臨む所信の一端を申し上げ、市議会議員の皆さんをはじめ、市民の皆さんのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、6月の市長選挙におきまして、多くの市民の皆さんの温かいご支援を賜り、紋別市長に初当選させていただくことができました。

市民の皆さんの大きな期待を思うとき、改めてその責任の重さと役割の大きさに身の引き締まる思いであり、今後、4年間、紋別市の更なる発展のために全力を尽くしてまいりたいと考えております。

私は、選挙戦の市内遊説を通して、改めて自分が生れ育った、この紋別を自分の足で歩き、ホタテ漁で活気づく浜

の様子に、海の恵みと浜に生きる人々を、また、若葉萌える山々や、放牧された牛、耕された畑に、陸の恵みと大地に生きるたくましい人々を見たところであります。

そして、まちなかでは、私が育った当時と比べ活気は薄れてきましたが、新興住宅地では、この少子化の時代にあつて、元気な子供たちが、目を輝かせ伸び伸びと遊ぶ姿を見ることができました。

私は、紋別で生れ、紋別で育ち、この地に骨を埋めるつもりで根を張り、この間、4期15年市議会議員として、紋

別の発展のために市民の声を代表して議会の場で主張してまいりました。

これからは、市長という立場で、紋別市民の先頭に立ち、このオホーツクの豊かな海や生産する大地、そして恵みを育む山々など、先人たちが、この素晴らしい礎を築き上げてきた我がふるさと紋別を、守り・育て・さらに発展させ、次の世代にしっかりと引き継いでいく決意を新たにいたしました。

私は、市民の暮らしが、ま

紋別市民で本当に良かった」と実感できるような、まちづくりをしていきたいと考えております。

まちづくりの原点は、やはり市民であります。市民が自ら考え、主体的に取り組むまちづくり、いわゆる「市民が輝くまちづくり」を目指し、「人がまちを創り、まちが人を育てる」そのようなまちづくりの実現に向け全力で取り組んでまいります。

以下、市政を執行するにあたりまして、私の基本的な姿勢を申し上げます。

## 『市民本位の市政』を進める

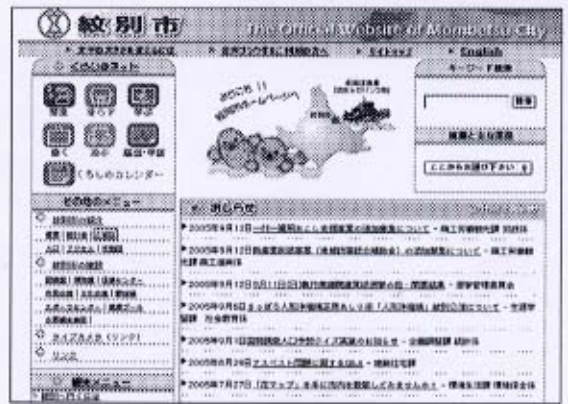
まず、第一は、「市民本位の市政」を進めることであります。

私は、この度の市長選挙を通して、改めて紋別のまちを隈なく歩き、汗を流して一生懸命働く人、老後の生活を楽しむお年寄り、子育てに追われる主婦など、紋別に生きる様々な人々の生活感を感じ取ることができました。

それそれぞれの地域の生活事情を垣間見たとき、まだまだ行政サービスが行き届かない点

など、市民の行政に対する不満の声は根強くあるように思っています。まちづくりにとって大切なことは、「市民が何を考え、何を行政に求めているのか」市民各層から幅広く市民の声





を汲み上げ、そして「すぐできるものと、時間を要するもの」、行政には適さないもの」などを、はつきりと市民に説明し、納得していただくことではないでしょうか。

これまでも市民ネットワーク事業などを通して、市民の声を行政に反映させる仕組みはありましたが、より一層市民と行政との距離を近づける手法を検討し、真の市民本位の市政を展開できるよう取り組んでいきたいと考えております。

そのためには、まず、市民と行政との意思疎通を高めることであります。

インターネットなどの情報化社会ではありませんが、やはり直接市民の生の声を聴くことが大切であり、商工会議所、漁協、農協、水産加工協、木協などの経済界をはじめ、教育・文化・スポーツ、福祉、町内会などの各団体や地域との対話を進めるなど、市民との意見交換を深めて、各団体や地域の課題を真摯に受け止め、積極的に市政に反映していきたいと考えております。

併せて、各種審議会などへの市民参加の機会を、一般公募制を生かしながら進めておりますが、男女共同参画社会に適應すべく、女性の選任枠の拡大なども含め、広く市民各層の参加機会を拡充し、生活者のさまざまな意見の汲み上げに努めてまいります。

また、市民生活の身の回りの小さな事柄においても、市

民の皆さんの不安や心配事を素早く解消するため、市職員が直ちに現場や市民のところに向き、直接対話をしながら問題の解決に向け対処してまいります。

## 「市民に役立つ市役所」を創る

行政の情報につきましても、広報もんべつやホームページ、さらには地元新聞などを通してお知らせしておりますが、市民の暮らしにとって重要な問題や、大きな行政課

題の方針決定など、その対応経過等も含めて、積極的に市民の皆さんに情報を提供し、行政情報の共有化に努めてまいります。

第二は、「市民に役立つ市役所」を創ることであります。

現在、そして未来も市民の皆さんであります。

市民あつての市役所であり、市役所のひとつひとつの機能アップが市民の暮らしの

レベルアップとなり、ひいては誰もが暮らしやすいまちづくりへとつながってまいります。

